

『図画教育通信』目次（3）

－第 221 信（昭和 2 年 4 月 1 日）～第 229 信（昭和 2 年 11 月 1 日）－

The Tables of Contents of Zuga-Kyoiku Tsushin（3）

－ From No.221（April 1st,1927） to No.229（November 1st,1927）－

亀 澤 朋 恵

Tomoe Kamezawa

（ 要 約 ）

本稿は、『図画教育通信』第 221 信（昭和 2 年 4 月 1 日）～第 229 信（昭和 2 年 11 月 1 日）までの目次一覧である。『図画教育通信』は図画教育通信社（主事：川村東陽）から発行されていたもので、戦前期の美術教育関係の雑誌の一つである。同通信は明治の終わりから昭和のはじめごろまで発行されていたとされ、これまで所在が確認できなかったものであるが、戦前期の図画教員に関連する調査の過程で発見した。途中で欠落はあるものの、第 168 信から 237 信までの間の 42 号分を確認した。本稿では紙幅の都合上、第 221 信から第 229 信までの目次を表にまとめた。

（キーワード）

『図画教育通信』、戦前期中等図画教員、美術教育史

本稿は『図画教育通信』目次（1）及び（2）に続き、第 221 信（昭和 2 年 4 月 1 日）～第 229 信（昭和 2 年 11 月 1 日）までの目次一覧である。『図画教育通信』は、山形寛『日本美術教育史』（黎明書房、1967 年）のなかで、戦前期に刊行された美術教育雑誌の一つとして紹介されていたものであるが¹⁾、これまで所在が確認できなかったものである。前期の図画教員に関する調査の過程で、1920（大正 10）年から 1928（昭和 3）年までに刊行されたもののうち 42 号分を確認し、現在も調査を継続している。この目次づくりは、戦前期の図画教育の内実を明らかにするための基礎資料づくりとして着手したものであり、本稿はその第 3 弾となる。紙幅の都合により、第 211 信（1927 年 4 月 1 日）～第 299 信（1927 年 11 月 1 日）までを表 1 にまとめた。

『図画教育通信』の誌面の特徴として、①多くの記事に記名がない（おそらく主事の川村東陽によるもの）②複数号にわたって同じ記事が掲載されることがある③タイトルがなく突然本文が始まるものが多い、などがあげられる。この目次において、③のような記事は冒頭一文程度を記し、文末に「・・・」を付して記した。その他、目次に関する補足を表末の【註】に付した。これらの記事の全文やその内容の分析については、稿を改めて検討を行うものとする。

表1 『図画教育通信』第221信～第229信 目次

第221信 昭和2年4月1日発行			
題名	頁	筆者	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・	1		※1
見本の微発に応じない商人は馬鹿野郎だと云ふ様な意味を或誌上で放言した教員がある・・・	1		※1※2
美術学校師範科卒業生及就職学校	2		
優良教師として東京市より表彰せられたる 手工 日本橋高等小学校訓導 山下貞三氏 手工 四谷第一小学校訓導 齋藤安之助氏	2		
農民美術研究所 手工用具販売を開始	3		
広島図画手工教育会の創立	3		
動静	3		
山里や日くるゝ頃や春の雨 愚哉	3		
第四十六回文検 予備試験図画手工科日割及試験委員	3		
学用品は購買部を設けて製造元と直接取引すべきを理想とせねばならぬ・・・	3		※1
引伸写真 全紙 尺九寸尺四寸 十三円 半切 尺四寸尺九寸五 九円 四切 尺九寸五七寸 五円 原画は成るべく乾版を提供せられたし 写真を送らるゝ向は複写料五十銭増し 本社 引伸写真部	4		※3
新刊 旧刊 本社にて取次す	4		※3
活版石版コロタイプ御注文に応ず 本社印刷部	4		※3
直線支空器	4		※3
針金製幾何形体模型	4		※3
第222信 昭和2年4月15日発行			
題名	頁	筆者	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・	1		※1
社会の実際を知る事が現在の教育家の最大の急務である・・・	1		※1※2
本年の美術学校師範科入学志望者は百九十一名で合格者は左の二十六名である	2		
動静	2		
日暮れて人無き梅の茶屋に入る 愚哉	2		
正誤	2		
文検手工科の要項と小学の手工教育の根本方針に就て 阿部七五三吉氏 談	2		
足洗記 其五 元恵那中学校教諭 中島信氏 今は府中洗井字中七六一に新住宅を建築中向後は専ら丹青に	3		
引伸写真 全紙 尺九寸尺四寸 十三円 半切 尺四寸尺九寸五 九円 四切 尺九寸五七寸 五円 原画は成るべく乾版を提供せられたし 写真を送らるゝ向は複写料五十銭増し 本社 引伸写真部	4		※3
新刊 旧刊 本社にて取次す	4		※3
活版石版コロタイプ御注文に応ず 本社印刷部	4		※3
直線支空器	4		※3
針金製幾何形体模型	4		※3

『図画教育通信』目次（3）

第 223 信 昭和 2 年 5 月 1 日発行

題名	頁	筆者	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・	1		※ 1
図画手工教員の将来に光輝あるか	1	川村東陽	
優良教師として東京市より表彰せられたる 図画科 下谷根岸小学校訓導 薩摩総雄氏	2		
本社にて手工用具の取次販売を開始す	2		
高等小学校手工科急設の一方法 東京市四谷第一小学校訓導 齋藤安之助氏談	2		
動静	2		
我窓は此頃梨の花盛り 愚哉	2		
本誌は頁数を多くしない・・・	2		※ 1
図画教員の・・・	2		※ 1
▲ラジオの昼間放送の大部分及び新聞の最後の一頁は・・・	3		※ 1 ※ 2
新刊 旧刊 本社にて取次す	4		※ 3
引伸写真 全紙 尺九寸尺四寸 十三円 半切 尺四寸尺九寸五 九円 四切 尺九寸五七寸 五円 原画は成るべく乾版を提供せられたし 写真を送らるゝ向は複写料五十銭増し 本社 引伸写真部	4		※ 3
活版石版コロタイプ御注文に应ず 本社印刷部	4		※ 3
直線支空器	4		※ 3
針金製幾何形体模型	4		※ 3

第 224 信 昭和 2 年 6 月 1 日発行

題名	頁	筆者	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・	1		※ 1
国民皆兵によりて国防は完く・・・	1		※ 1 ※ 2
外職彙報 三四 国展入選の滑川高等女学校教諭 松下宗義氏	2		
文検予備問題 日本画 西洋画 用器画 手工	2		
外職彙報 三五 豊中中学教諭 齋川吾郎氏の月刊冊子 浮世絵版画 研究の発行	3		
動静	3		
広ろびろと刈弘けり麥畑 愚哉	3		
引伸写真 全紙 尺九寸尺四寸 十三円 半切 尺四寸尺九寸五 九円 四切 尺九寸五七寸 五円 原画は成るべく乾版を提供せられたし 写真を送らるゝ向は複写料五十銭増し 本社 引伸写真部	4		※ 3
新刊 旧刊 本社にて取次す	4		※ 3
活版石版コロタイプ御注文に应ず 本社印刷部	4		※ 3
直線支空器	4		※ 3
針金製幾何形体模型	4		※ 3

第225信 昭和2年7月1日発行

題名	頁	筆者	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・	1		※1
製図器械の見本を只呉れないからと喰つて掛かつた教員があつたが…	1		※1※2
東京府小学教員絵画作品展覧会に就いて 展覧会委員長 仰高西小学校長 久保田保蔵氏談	2		
談論 教員若返り法 —— 教員展と実習講習 —— 創作手工協会理事児童 の村小学校講師 石野隆氏談	2		
静か夜の更けて涼しき螢かな 愚哉	2		
手工図画研究会主催の手工実習講習会	3		
動静	3		
うかうかと螢に足の町外れ 愚哉	3		
外職彙報 三六 東京市成城小学校訓導 稲森縫之助氏の名著 高等小学図画手工更正の実際 定価三円五十銭送料十八銭	3		
図画を基礎とせる学問技術の考查研究 其の七 印刷術講話 エッチング印刷	3	川村東陽	
新刊 旧刊 本社にて取次す	4		※3
活版石版コロタイプ御注文に应ず 本社印刷部	4		※3
直線支空器	4		※3
針金製幾何形体模型	4		※3

第226信 昭和2年8月1日発行

題名	頁	筆者	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・	1		※1
中等教員は商売換えをせぬ限り浮ぶ瀬の無い商売であつたのが・・・	1		※1※2
高等教員検定試験委員 関野 貞氏談	2		
高等教員検定試験に合格せる 山口県立長府中学教諭 藤井禎三郎氏	2		
動静	2		
夕立や中もどりして蟬の声 愚哉	2		
高等教員検定試験合格者	2		
本年度文検本試験合格者 図画科 日本画用器画、西洋画用器画 手工科	2		
高等教員検定試験に合格せる 岡山県立高梁中学教諭 板野栄一氏	3		
高等教員検定試験に合格せる 青山学院 明治学院 青山女学院教諭 藤本仁平氏	3		
東京市視学 平岡信敏氏の訃	3		
長崎師範博覧会	3		
新刊 旧刊 本社にて取次す	4		※3
活版石版コロタイプ御注文に应ず 本社印刷部	4		※3
直線支空器	4		※3
針金製幾何形体模型	4		※3

『図画教育通信』目次（3）

第 227 信 昭和 2 年 8 月 15 日発行

題名	頁	筆者	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・	1		※ 1
図画手工教員に将来の光輝あるか	1	川村東陽	
高等教員検定試験要項（昭和二年二月十四日官報所載）	2		
同試験委員 イロハ順 中川銓吉 内丸最一郎 関野貞	2		
同試験問題	2		
同筆記試験	2		
日割時間	2		
用器画試験問題	2		
和文英訳	3		
製図試験問題	3		
引伸写真 全紙 尺九寸尺四寸 十三円 半切 尺四寸尺九寸五 九円 四切 尺九寸五七寸 五円 原画は成るべく乾版を提供せられたし 写真を送らるゝ向は複写料五十銭増し 本社 引伸写真部	4		※ 3
新刊 旧刊 本社にて取次す	4		※ 3
活版石版コロタイプ御注文に应ず 本社印刷部	4		※ 3
直線支空器	4		※ 3
針金製幾何形体模型	4		※ 3

第 228 信 昭和 2 年 10 月 1 日発行

題名	頁	筆者	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・	1		※ 1
▲現在学校教育の危機欠陥は社会の實際を無視し・・・	1		※ 1
篤学者として啓明会より三千円の研究費の補助を受けたる 上坂雅之助氏	2		
外職彙報 三十七 二科展へ入選の芝浦小学校訓導 手島貢氏	2		
外職彙報 三十八 二科展入選の堺高女教諭 柏原覚太郎氏	3		
外職彙報 三十九 美術教育としての美術史（定価二. 六〇 送料一二 本社にて取次す）の共著者としての埼玉女師教諭 伊藤好太郎氏 堺高女教諭 大河内定雄氏	3		
動静	3		
浮雲は消えてあとなし秋の夕 愚哉	3		
新刊 旧刊 本社にて取次す	4		※ 3
活版石版コロタイプ御注文に应ず 本社印刷部	4		※ 3
直線支空器	4		※ 3
針金製幾何形体模型	4		※ 3

第229信 昭和2年11月1日発行

題名	頁	筆者	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・	1		※1
又何か文句を云ふてるものがあるとなハハ、、、、、、・・・	1		※1※2
図画教員にして校長に昇進せる石川県立工業学校の山脇雄吉氏	2		
高岡工芸学校に勤続二十五年にして勇退せる中島次郎氏	2		
外職彙報 四十 高等科の図画（定価二円五十銭送料十二銭 本社にて取次す） 著作者としての豊島師範教諭 萬富三氏	2		
神奈川県湘南中学教諭 塚本茂氏	3		
動静	3		
紅葉葉のあわいあわい瀧の松 愚哉	3		
龍山中学教諭 遠田運雄師	3		
武蔵野女学院 浅草女子商業 桐谷天香氏	3		
社生募集	3		※3
学校購買部論	4		
帝展入選の諸氏 女子学習院教授 白井剛夫氏/東京市立一中教諭 香川東華氏/滋賀 県彦根高女教諭 古屋浩蔵氏/栃木県佐野商業教諭 大貫鉄心氏/東京 府立六中教諭 広本了氏/岐阜県女子師範教諭 坂井範一氏/東京本郷 中学教諭 服部季彦氏/日本橋女子高等小学訓導 山内静江氏	5		
新刊 旧刊 本社にて取次す	6		※3
活版石版コロタイプ御注文に应ず 本社印刷部	6		※3
直線支空器	6		※3
針金製幾何形体模型	6		※3

【註】※1タイトルなし ※2初出 ※3広告

【付記】表記は常用漢字、現代仮名遣いに改めた。

【謝辞】この研究は科学研究費助成事業（課題番号:19K14081）の助成を受けたものです。

1) 山形寛『日本美術教育史』黎明書房、1967年、487頁。